

terra

by ESSENSITY

Schwarzkopf
PROFESSIONAL

CLAY SHIELD TECHNOLOGY

PERMANENT COLOR EMPOWERED BY CLAY
with Organic Plant Extract & Marine Collagen

TECHNICAL GUIDE



製品をご使用に当たってのお願い


●使用上の注意をよく読んで、正しくお使い下さい。


ヘアカラーのご使用に当たってのご注意

- ヘアカラーでかぶれたことのある方には絶対に使用しないで下さい。
- ご使用前には毎回必ず皮膚アレルギー試験（パッチテスト）を行って下さい。

シュワルツコフ プロフェSSIONAL


ヘンケルジャパン株式会社 東京都品川区東品川 2-2-8 スフィアタワー天王洲
お客様相談室 03-3472-3078 (受付: 土・日・祝日を除く 10:00~12:00 / 13:00~17:00)
<https://www.schwarzkopf-professional.jp/> ※無断転載を禁止します。(画像・文章)

 Facebook
[schwarzkopf.professional.japan](https://www.facebook.com/schwarzkopf.professional.japan)

 Youtube
<https://goo.gl/IRuFSs>

 Instagram
[@schwarzkopfjapan](https://www.instagram.com/schwarzkopfjapan)

 Twitter
[@Schwarzkopf_jp](https://twitter.com/Schwarzkopf_jp)

 Instagram
#テラ
#艶色クレイカラー

Together. A passion for hair.

P 01	PRODUCTS / 製品構成
P 02-03	COLOR CHART / カラーチャート
P 04	COLOR IMAGE / 色相のイメージ
P 05	COLOR CIRCLE / 色相環
P 06	USAGE / 基本使用量 BASIC PROCESS / 基本施術プロセス
P 07	SUPPORT ITEM USAGE / サポートアイテム使用ガイド
P 08	PROCESS / 目的別施術プロセス
P 09	TONE DOWN / トーンダウン
P 10	MENU FOR GRAY HAIR / グレイヘアの様々な提案
P 11	MENU FOR GRAY HAIR-MODEL EXAMPLE / グレイヘアの様々な提案 - モデル例
P 12	Q&A / よくあるご質問

PRODUCTS

製品構成

テラ 1 剤 全 48 色 (染毛剤、各 85g [医薬部外品])



ファッションシェード
ナチュラル系～高発色シェードまで、クリアで深みのある色を楽しめるシェード。



グレイシェード
ファッションシェードと連動された色味でしっかり白髪をカバー。黒髪と白髪のなじみが良く、毛先までなめらかな仕上がり。



**クリア+
コントロールシェード**
ファッションシェードやグレイシェードとの併用で表現性を高めるシェード群。コンパクトでも多彩な表現をサポートします。

テラ 2 剤 全 2 アイテム (酸化剤、各 1,000g [医薬部外品])



**オイルデベロッパー
5.5%**
・新生部や既染部に
・明るくしながら色を入れる場合に
・染まりにくい髪に色を入れる場合に



**オイルデベロッパー
2.5%**
・染まりやすい新生部や既染部に
・ダメージの気になる既染部に
・今と同じ明るさ、又は暗くしながら色味を入れる場合に

COLOR CHART

カラーチャート

FASHION SHADE ファッションシェード (ホワイトベース)

明度	MAHOGANY マホガニー	BUFF バフ	SAND サンド	OCEAN オーシャン	LEAF リーフ	HONEY ハニー	CORAL コーラル	ROSE ローズ
9	9-MA	9-BU	9-SA	9-OC	9-LE	9-HO	9-CO	9-RO
7	7-MA	7-BU	7-SA	7-OC	7-LE	7-HO	7-CO	7-RO
5	5-MA		5-SA					

FASHION SHADE ファッションシェード (黒髪ベース)

明度	MAHOGANY マホガニー	BUFF バフ	SAND サンド	OCEAN オーシャン	LEAF リーフ	HONEY ハニー	CORAL コーラル	ROSE ローズ	明度
9	9-MA	9-BU	9-SA	9-OC	9-LE	9-HO	9-CO	9-RO	9
7	7-MA	7-BU	7-SA	7-OC	7-LE	7-HO	7-CO	7-RO	7
5	5-MA		5-SA						5

GRAY SHADE グレイシェード (ホワイトベース)

明度	MAHOGANY マホガニー	BUFF バフ	SAND サンド	OCEAN オーシャン	LEAF リーフ	HONEY ハニー	CORAL コーラル	ROSE ローズ
9	9-MA.B	9-BU.B	9-SA.B	9-OC.B	9-LE.B	9-HO.B	9-CO.B	9-RO.B
7	7-MA.B	7-BU.B	7-SA.B	7-OC.B	7-LE.B	7-HO.B	7-CO.B	7-RO.B
5	5-MA.B	5-BU.B	5-SA.B	5-OC.B	5-LE.B	5-HO.B	5-CO.B	
3	3-MA.B	3-BU.B						

GRAY SHADE グレイシェード (白髪40%)

明度	MAHOGANY マホガニー	BUFF バフ	SAND サンド	OCEAN オーシャン	LEAF リーフ	HONEY ハニー	CORAL コーラル	ROSE ローズ	明度
9	9-MA.B	9-BU.B	9-SA.B	9-OC.B	9-LE.B	9-HO.B	9-CO.B	9-RO.B	9
7	7-MA.B	7-BU.B	7-SA.B	7-OC.B	7-LE.B	7-HO.B	7-CO.B	7-RO.B	7
5	5-MA.B	5-BU.B	5-SA.B	5-OC.B	5-LE.B	5-HO.B	5-CO.B		5
3	3-MA.B	3-BU.B							3

CLEAR SHADE クリアシェード (ホワイトベース)

CLEAR クリア	
13-HL	CC

CONTROL SHADE コントロールシェード (ホワイトベース)

ASH CONTROL アッシュコントロール	MATT CONTROL マットコントロール	PINK CONTROL ピンクコントロール
C-ASH	C-MATT	C-PINK

シェード表示

9-BU
↑ 明度
↑ 色相

1剤と2剤の混合比率

1剤のレベル	1剤:2剤
9~13レベル	1:2
3~7レベル	1:1

●88%*自然由来成分 *平均値(1剤,2剤ミックス時)

- ノンシリコン、ノンパラフィン(鉱物油)、ノンパラベン(防腐剤)
- クルエルティフリー(開発・市場参入の過程で動物実験をしていません)

*2剤はオイルデベロッパーを使用した場合のイメージです。*毛束画像はあくまでイメージであり、印刷物ですので実際の色と多少異なる場合があります。

COLOR IMAGE

色相のイメージ



FASHION SHADE ファッションシェード

MAHOGANY マホガニー | 赤味のある茶色。美しく深みのあるツヤが魅力。
マホガニー

BUFF バフ | やわらかなベージュ色。知的で肌なじみの良い上品色。
バフ

SAND サンド | 赤味を消してくれる、グレイッシュなクールベージュ。
サンド

OCEAN オーシャン | 中明度ベースでしっかり発色するよう設計されたアッシュ。
オーシャン

LEAF リーフ | 中明度ベースで適切に発色するよう設計されたマット。
リーフ

HONEY ハニー | オレンジに傾きにくい、僅かにくすんだマット寄りゴールド。
ハニー

CORAL コーラル | 赤とピンクの中間の色。明度を問わずモードな柔らかさを演出。
コーラル

ROSE ローズ | 紫味の強い、クールで落ち着きのあるピンク。
ローズ

CONTROL SHADE コントロールシェード

ASH CONTROL アッシュコントロール
アッシュコントロール
濁り味のない、青の染料をそのまま濃くしたインディゴ色。

MATT CONTROL マットコントロール
マットコントロール
深い森を思わせる、シックで濃い緑。

PINK CONTROL ピンクコントロール
ピンクコントロール
青味の少ない濃厚なピンク色。

GLAY SHADE グレイシェード

MAHOGANY BROWN マホガニーブラウン
マホガニー

BUFF BROWN バフブラウン
バフブラウン

SAND BROWN サンドブラウン
ブラウン
ブラチナ

OCEAN BROWN オーシャンブラウン
ブラウン
アッシュ

LEAF BROWN リーフブラウン
ブラウン
マット

HONEY BROWN ハニーブラウン
ゴールド
ブラウン

CORAL BROWN コーラルブラウン
コーラル
ブラウン

ROSE BROWN ローズブラウン
ブラウン
ローズ

CLEAR SHADE クリアシェード

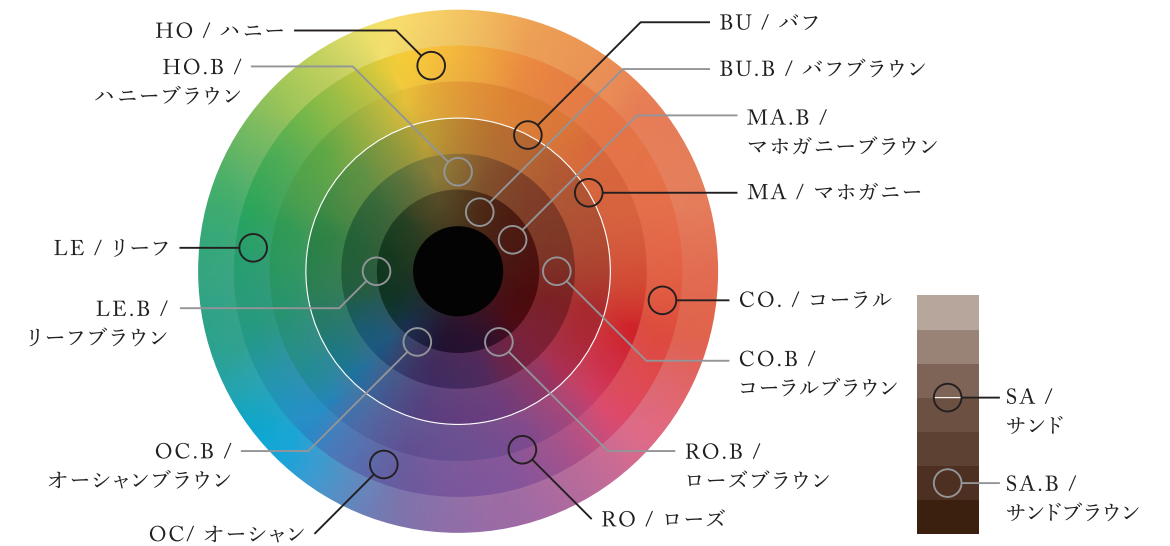
CLEAR13 クリア 13
13レベルのリフト力を持ち、その他のシェードと併用することで明度を上げながら色を薄めることができます。

CLARITY CONTROL クラリティコントロール
リフト力は持ちません。その他のシェードと併用することで色を薄めることができます。ダメージした既染部にトリートメント成分をしっかりと届けます。

COLOR CIRCLE

色相環

ファッションシェードとグレイシェードの色味が連動しているため、併用しやすく、色味の幅が広がります。コントロールシェードは彩度を補います。



COLOR EXPRESSION

テラの色表現

ミニマムなシェード構成ながら、各シェードを併用することによって、自在な色表現ができます。

暖色の表現例

9-CO (9-コーラル) × 9-RO (9-ローズ) → 1 : 1 仕上がり例, 1 : 2 仕上がり例

9-MA (9-マホガニー) × C-PINK (ピンクコントロール) → 1 : 1 仕上がり例, 1 : 2 仕上がり例

寒色の表現例

9-OC (9-オーシャン) × 9-SA (9-サンド) → 1 : 1 仕上がり例, 1 : 2 仕上がり例

9-OC (9-オーシャン) × C-ASH (アッシュコントロール) → 1 : 1 仕上がり例, 1 : 2 仕上がり例

USAGE

基本使用量

使用量の目安です。お客様の毛量も加味して量を決定して下さい。

1剤、2剤の混合比	新生部の長さ		既染部の長さ		
	1cm	3cm	ショート	ミドル	ロング
9レベル以上 1:2	25g:50g	35g:70g	20g:40g	35g:70g	45g:90g
7レベル以下 1:1	40g:40g	50g:50g	30g:30g	50g:50g	70g:70g

BASIC PROCESS

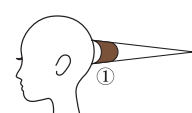
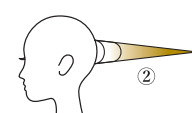
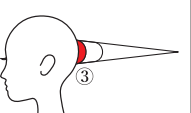
基本施術プロセス

ハイドレーター塗布は新生部塗布の後に既染部のみに行う独自のプロセスです。

髪が湿った状態で既染部塗布を行ってください。

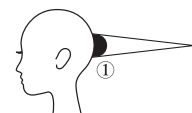
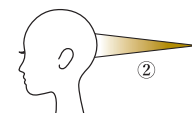
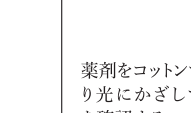
カラーベーシックテクニック【ファッションカラー】

施術時間

0分	15分	25分	35分	45分
<p>スキャalp プロテクター塗布 ①新生部塗布 (根元ぎりぎりを残す)</p>  <p>POINT アンダーセクションなどの明るくなりやすい箇所から塗布する</p>	<p>塗布終了</p> <p>ハイドレーター塗布 ②既染部塗布 (トーンダウン表P9を参照)</p> <p>クロスチェック</p>  <p>明るくなっている箇所から塗布する カラー剤はダメージが比較的少ない中間には多めに塗布し、毛先へ向かって徐々に少なくする</p>	<p>③根元塗布</p> <p>クロスチェック</p>  <p>頭皮に薬剤が溜まらないように薄く塗布する</p>	<p>カラーチェック後 乳化 水洗、シャンプー</p> <p>薬剤をコットンでふき取り光にかざして染まりを確認する</p> <p>皮膚染着を防ぐ為に乳化はしっかり行う</p>	

カラーベーシックテクニック【グレイカラー】

施術時間

0分	10分	25分	40分
<p>スキャalp プロテクター塗布 ①新生部塗布 (根元本ぎりぎりを残す)</p>  <p>POINT グレイヘアの比率が高い所から塗布する・頭皮へ溜まらない程度にたっぷり薬剤を塗布する</p>	<p>塗布終了</p> <p>ハイドレーター塗布 ②既染部塗布 (トーンダウン表P9を参照)</p> <p>クロスチェック</p>  <p>カラー剤はダメージが比較的少ない中間には多めに塗布し、毛先へ向かって徐々に少なくする 根元に空気を入れるように(コームアップ)しながら空気酸化を促し、コーミングで薬剤をなじませる</p>	<p>クロスチェック</p>  <p>頭皮に薬剤が溜まらないように薄く塗布する</p>	<p>カラーチェック後 乳化 水洗い・シャンプー</p> <p>薬剤をコットンでふき取り光にかざして染まりを確認する</p> <p>皮膚染着を防ぐ為に乳化はしっかり行う</p>

SUPPORT ITEM USAGE

サポートアイテム使用ガイド



テラ スキャalp プロテクター 〈頭皮用保護剤〉
55mL (頭皮用トリートメント)

デリケートな頭皮に、集中的に潤いと油分を与えます。天然由来成分を角質層まで浸透させ、頭皮環境を整えることで、ヘアカラーによる頭皮ストレスからの解放を目指します。柔軟で健康的な頭皮へ導く、頭皮用美容液です。

テラ ハイドレーター 〈既染部用前処理剤〉
450mL (ヘアトリートメント)

天然由来の潤い成分が髪のコンディションを整え、クレイ配合のヘアカラー剤のすべりを良くします。ケラチン、コラーゲン(補修・保護)がヘアカラーがしっかり定着する髪の素地を整えます。

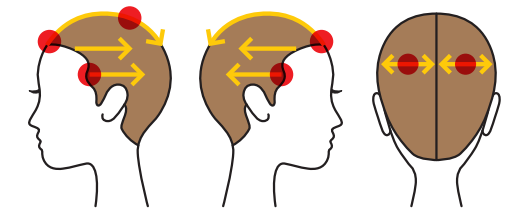
【スキャalp プロテクター塗布手順】

標準使用量 全頭で6~8滴(約0.24~0.32mL)

フロント1滴 / サイド2滴 / バック2~3滴

● スキャalp プロテクター塗布位置

→なじませる方向

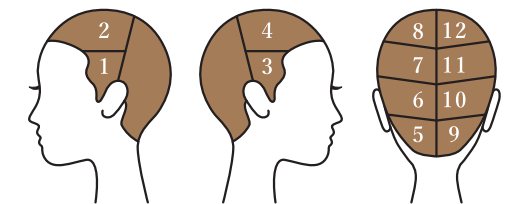


①清潔な頭皮に直接スポイト1滴を各部位に垂らしてください。

②両手の指の腹を使って、美容液を頭皮全体にまんべんなくなじませてください。

【ハイドレーター塗布手順】

標準使用量	
通常の前処理剤よりたっぷり多めに使用します。	
ショート	15mL~20mL
ミディアム	20mL~25mL
ロング	25mL~30mL



①ハイドレーターを適量スプレーヤーに入れ、

すでに薬剤が塗布してある新生部を避け、既染部全体に塗布します。

②乾かさずに、髪が濡れたまま既染部塗布に進みます。

PROCESS

目的別施術プロセス

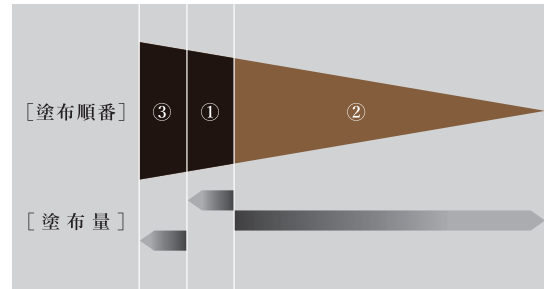
ファッションカラー

11レベルの明るさを目指す

明るさを求める場合は、9レベルに13-HL(クリア)を併用します

【薬剤設定の例】

9レベル+13-HL
(1:1) 5.5% 2倍



※塗布手順はカラーベーシック [ファッションカラー] を参照してください。

暗い既染部を明るくしたい

残留ティントがある既染部7レベルを1~2レベル明るくする

【薬剤設定の例】

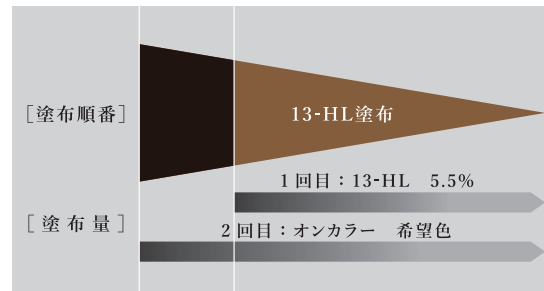
残留ティントがある既染部

① 13-HL 5.5% 2倍

自然放置20~30分

(希望の明度に近づくのを確認します)

② シャンプー後、9レベルの希望色を塗布します



※塗布手順はカラーベーシック [ファッションカラー] を参照してください。

グレイカラー

既染部が過剰に暗くなるのを防ぐ

ハイダメージ毛の過剰な吸い込みをCC(クラリティコントロール)を使って解決する

【薬剤設定の例】

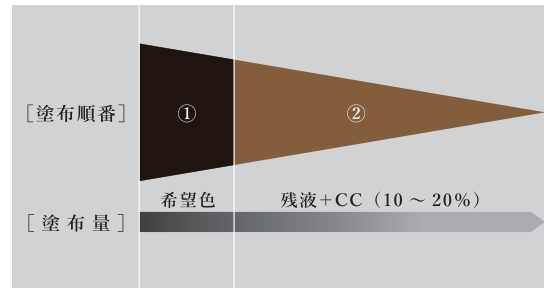
新生部: 7-MA.B 5.5% 等倍

既染部: 7-MA.B+CC 残液にCCと等倍の2.5%

【CCを残液にミックスする目安】

・総量の10~20%を併用する

・CCの量が20%を超えると色味が薄まり新生部と既染部の境目のなじみが悪くなる場合があります



※塗布手順はカラーベーシック [グレイカラー] を参照してください。

部分的に白髪が多い場合の対処方法

白髪の生えている量が部分的に差があっても均等に染める方法

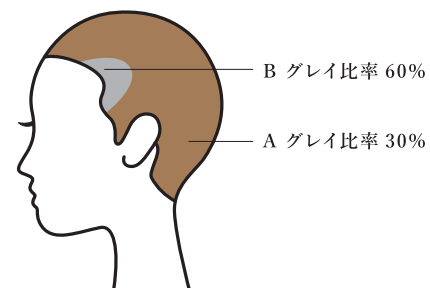
【薬剤設定の例】

① 白髪多いB 7-MA.B 2.5% 等倍

(5分程度放置)

② 希望色をA・B 9-MA.B 5.5% 2倍

(自然放置20~25分)



※塗布手順はカラーベーシック [グレイカラー] を参照してください。

TONE DOWN

トーンダウン

ファッションシェード、グレイシェード共通のトーンダウン表です。

既染部の明るさ	希望の明るさ					
	8	7	6	5	4	3
9	7+9 (1:1)	7	5+7 (1:1)	5	3+5 (1:1)	3
8	-	7	5+7 (1:1)	5	3+5 (1:1)	3
7		-	5+7 (1:1)	5	3+5 (1:1)	3
6			-	5+CC (1:1)	3+5 (1:1)	3
5				-	3+5 (1:1)	4+CC (1:1)
4					-	3

※寒色系の色味(OC/オーシャン, OC.B/オーシャンブラウン)については1レベル明るめの薬剤選定を行います。

※髪質、ダメージ具合、薬剤塗布量、選定する2剤などの諸条件により、仕上がりの明度が変化することがあります。

※7レベルと9レベルを1:1で併用する場合の2剤は1.5倍で混合します。

沈み込みやすい柔毛・細毛の場合の対応

既染部の毛髪が柔らかく・細い髪の場合は想定より暗くなる場合があります。使用薬剤にCCを併用する事が必要です。例)既染部が9レベル。仕上がりの希望明度が7レベルの場合の薬剤設定は7レベル+CCを10~20%で併用してください。

ATTENTION

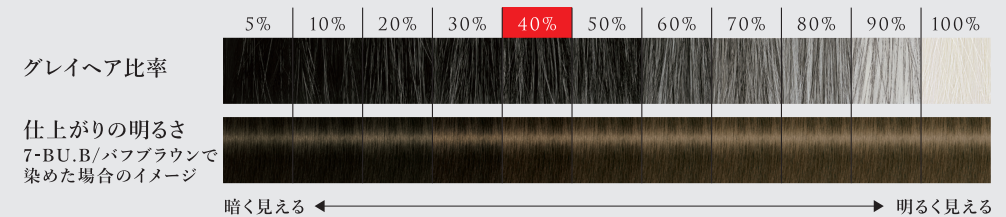
理想の仕上がりのためのご注意点

【新生部の状況確認】

テラのグレイシェードは白髪比率40%の状態での仕上がりを想定しています。

白髪比率が高ければ明るめに仕上がります、低ければ暗めに仕上がります。

グレイヘア比率の変化による仕上がりの明るさ



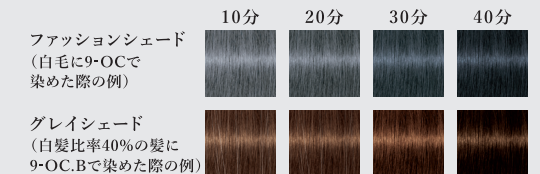
【塗布量による発色の違い】

毛量やレングスに応じて適切な使用量をお守り頂くことはきれいな仕上がりを指す上で重要です。少ないと白髪カバーや発色に問題が発生し、多すぎると沈み込みにつながります。



【放置時間による発色の違い】

しっかり推奨の放置時間を守って頂くことも大切です。短めにあげてしまうと、色のりが悪く、色持ちにも影響します。



MENU FOR GRAY HAIR

グレイヘアへの様々な提案

多様化するお客様のニーズ。「ファッションカラー」「グレイカラー」の2択ではなく、その間にこそ個性豊かな大人髪スタイルがあると考え、テラはファッションカラーとグレイカラーの色味を合わせ、併用頂くことにより様々なヘアカラー提案ができるように設計してあります。白髪は、生え方や分量に個人差があり、そこに今のお客様を素敵に見せるヒントが詰まっています。お客様に似合う染め色や染め方の選択肢をテラで広げてください。

※ F：ファッションシェード G：グレイシェードの略

白髪染め効果	ニーズ	対象	染まりイメージ画像	黒髪の染まり具合	白髪の染まり具合	薬剤設定の例	
						新生部	既染部
活かす	白髪の量が少なく、まだ白髪染めをしたくない、明るくクリアな色を楽しみたい。	【白髪比率】 1～15% 【既染部の明るさ】 9レベル以上				F 5～9レベル 5.5% (1:1～1:2) — または — F + G 9レベル+9レベル [1:1] 5.5% (2倍)	F 9レベル 5.5% (2倍) — または — F + G 9レベル+13-HL [1:1～1:2] 5.5% (2倍)
なじませる	継続してリタッチをしていて、既染部の白髪も少し気になっている。	【白髪比率】 10～30% 【既染部の明るさ】 7レベル以上				F + G 7レベル+7レベル [1:1] 5.5% (等倍)	F + G 9レベル+9レベル [2:1] 5.5% (2倍)
隠す	定期的に白髪染めをしていて、しっかり白髪を染めたい。	【白髪比率】 全て対応可 【既染部の明るさ】 10レベル以下				G 7～9レベル 5.5% (等倍)	G 残液塗布 または CC 10～20%
						G 3～5レベル 5.5% (等倍)	G 残液塗布 または CC 10～20%

MENU FOR GRAY HAIR - MODEL EXAMPLE

グレイヘアの様々な提案 - モデル例

白髪を「活かす」(既染部をできるだけ明るくする)

既染部に「ファッションシェード」+「13-HL」を使用する

BEFORE

【新生部の状態】

・白髪比率5～15%程度 髪質は細毛で毛量少なめ

【既染部の状態】

・白髪染めをしていて、明るさ7レベル程度

【お客様の悩み】

・白髪染めをしていて、既染部が暗くなっているが可能な限り明るい色にイメージチェンジしたい

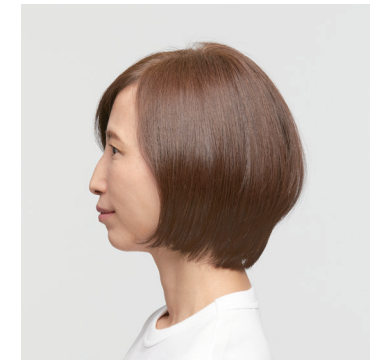
RECIPE

【ご提案】

・新生部の薬剤にファッションカラーとグレイカラー剤を併用して「白髪を活かす」
・既染部は明るくして白髪を目立たなくする

■ 新生部の薬剤設定：9-SA+9-SA.B (1:1) 5.5% 2倍

■ 既染部の薬剤設定：9-SA+13-HL (1:1) 5.5% 2倍



白髪を「活かす」(既染部をできるだけ明るくする)

既染部に「ファッションシェード」を使用する

BEFORE

【新生部の状態】

・白髪比率5～15% 髪質は太毛で毛量多め

【既染部の状態】

・白髪染めをしていて、明るさ8～9レベル程度

【お客様の悩み】

・白髪染めをしていて、既染部が暗くなっている

RECIPE

【ご提案】

・新生部の薬剤にファッションカラーとグレイカラー剤を併用して「白髪を活かす」
・既染部は明るくしてクリアな色にして白髪浮きを目立たなくする

■ 新生部の薬剤設定：9-OC+9-OC.B (1:1) 5.5% 2倍

■ 既染部の薬剤設定：9-OC 5.5% 2倍



白髪を「なじませる」

既染部に「ファッションシェード」+「グレイシェード」を使用する

BEFORE

【新生部の状態】

・白髪比率20% 髪質は太毛で毛量多め

【既染部の状態】

・白髪染めをしていて、明るさ6～7レベル程度

【お客様の悩み】

・白髪をしっかり染めている為、生えてきた白髪が目立つ
・暗めの色を明るく見せたい

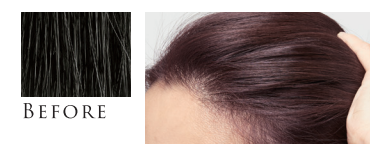
RECIPE

【ご提案】

・新生部の薬剤にファッションカラー剤を併用して「白髪をなじませる」
・既染部は明るくしてクリアな色にして白髪が伸びてきても目立ちにくく

■ 新生部の薬剤設定：7-RO+7-RO.B (1:1) 5.5% 等倍

■ 既染部の薬剤設定：9-RO+9-RO.B (2:1) 5.5% 2倍



QUESTION & ANSWERS

よくあるご質問

QUESTION

01 | 施術の際、
一番注意する点は？

既染部塗布の前にハイドレーターで髪を湿らせ、乾かさずにカラーを塗布する点です。特に長い髪の方は十分湿らせてください。ハイドレーターなしでも塗布できないことはないですが、クレイ独自の粘性がありますので、クリームの伸びが悪くなり使用量増加の懸念があり、コーンスルーもしにくくなります。新生部は逆に、クレイの粘性を活かすためハイドレーターなしのドライ塗布を推奨します。

QUESTION

02 | ハイドレーターの代わりに
水でも問題ないですか？

塗布時の伸びやコーンスルーに関しては問題はありませんが、新生部は湿っていない方が好ましいので、新生部塗布後にスプレイヤーで既染部のみを湿らせてください。手触り、色の再現性、色持ちは水よりハイドレーター使用の方が向上します。

QUESTION

03 | カラーチェックの方法は？

通常のカラー同様、コットン等でクリームを除いて確認してください。クレイ配合により確認しづらい等の懸念は特にありません。

QUESTION

04 | 皮膚染着の懸念はどうですか？

クリームの密着性の高さから皮膚染着が高いイメージを持たれますが、実際は通常ヘアカラーと同等です。頭皮や皮膚についたカラーは通常のリムーバーで除去頂けます。



QUESTION

05 | クレイ配合だと使用量が
かなり増えるイメージがあります。

実際増えることはなく、弊社他ブランドと使用量は変わらないことが検証されています。クレイ配合でも各種自然由来の保湿成分やオイル成分を贅沢に配合していますので、クリームの伸びは想像以上に良いかと思えます。但し、既染部塗布の前にハイドレーター（又は水）塗布を忘れると増えてしまうこともありますのでご注意ください。

QUESTION

06 | カラーを洗い流すのに通常の
カラーより時間がかかりますか？

クレイ配合でも水となじませて頂くことで（乳化することで）、流洗は通常のカラーと同等の感覚で行えます。

QUESTION

07 | カラー剤の浸透が良くなっているため、
発色やリフトも早くなるのでしょうか？

浸透がよくなって（特にハイドレーター併用で）より髪の深部まで均一に染まるようになりましたので、色持ち、発色には良い影響がでます。リフト力のスピードに関してはこれまでの弊社製品と大きな差はありませんので、推奨放置時間で施術してください。

QUESTION

08 | ハイドレーターを塗布し過ぎると
発色に影響がでますか？

基準の目安より大幅に塗布した場合は色味が薄まり、リフト力にも影響がでます。

QUESTION

09 | ハイドレーターを入れる容器に
決まり（お勧め）はありますか？

一般的なスプレイヤーをご使用ください。排出口が狭く細かい霧がでるタイプを使用すると目がつまってしまう恐れがあります。

